

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	システム工学	担当教員	國頭 聖 (非常勤講師)	
学年学科	5年 機械工学科	後期	選択	1 単位(学修)
学習・教育目標	(D-2) 75%、(E) 25%		JABEE 基準 1 (1): (c)、(d)	
授業の目標と期待される効果： 航空宇宙システムは極限的な設計が行われる大規模システムであり、これらの設計においてはシステム工学の方法論が多く用いられている。本講義では、航空工学の基礎的な内容を学び、航空宇宙システムについて理解を深める。 具体的には以下の項目を目標とする。 ① 航空機システムの設計の考え方について、概要を理解する。 ② 揚力及び抗力に関わる空気力学について、基本的な原理を理解する。 ③ 航空機の性能、安定性、操縦性に関する設計の考え方を理解する。 ④ 推進機関、構造系、装備システム等の概要を理解する。 ⑤ 宇宙機に関わる基礎的事項を理解する。		成績評価の方法： 定期試験 100 点 + 中間試験 50 点の総得点に対する得点率で評価する。評価は、総合点の得点率 60% 以上で単位を認定する。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準： 次の項目に対して、参考書等の基本的な内容と同レベルの問題を試験で出題し、6 割以上正答のレベルまで達していること。 ① 航空機システムの設計の考え方を理解していること。 ② 揚力及び抗力に関わる空気力学の基本的原理および定式化を理解していること。 ③ 航空機の性能、安定性、操縦性に関する考え方および定式化を理解していること。 ④ 推進機関、構造系、装備システム等の概要を理解していること ⑤ 宇宙機に関わる基本的な事項を理解していること。		
授業の進め方とアドバイス： 授業は、講義を中心とするが、演習も取り入れて具体的な問題を解いてもらう。				
教科書および参考書： 教科書：指定しない。 参考書：「航空宇宙工学入門 (室津義定ほか・森北出版)」、「航空機力学入門 (加藤寛一郎ほか、東京大学出版)」、「航空力学の基礎 (牧野光雄、産業図書)」				
授業の概要と予定：後期		教室外学修		
第 1 回：航空宇宙産業の概要		航空宇宙産業の概要について理解する。		
第 2 回：航空宇宙環境		標準大気、高層大気圏、宇宙環境について理解する。		
第 3 回：航空機の形態		航空機の分類、飛行機・ロケット・宇宙機の構成について理解する。		
第 4 回：空気力学の基礎		空気力学の基礎を理解する。		
第 5 回：航空機の性能		力のつり合い、失速速度、飛行性能等の定式化について理解する。		
第 6 回：構造と強度		構造設計、構造様式、荷重、材料、強度等について理解する。		
第 7 回：推進		航空機用推進およびロケット推進について理解する。		
第 8 回：航空機の基本計画、中間試験		航空機開発の基本計画の概要について理解する。		
第 9 回：航空機・宇宙機的设计・製造		航空機・宇宙機的设计、製造、コンピュータ利用等について理解する。		
第 10 回：航空機の操縦		航空機の操縦システムについて理解する。		
第 11 回：航空機の安定性と操縦性		航空機の静的・動的安定、縦・横方向の安定、操縦性について理解する。		
第 12 回：航法システム		航空機の航法システムについて理解する。		
第 13 回：航空機の装備		航空機の各種装備システム等について理解する。		
第 14 回：関連試験		航空機開発における各種試験等について理解する。		
第 15 回：宇宙機		宇宙機等の基本概念を理解する。 全般的な復習		
第 16 回：期末試験				
第 17 回：フォローアップ		期末試験の解答の解説など		